



目の前で本格的な手打ちそば（詳細はP 8）

やすらぎ

題字：佐藤喜次さん筆（特養住民）

主な内容

住民の健康を祝う集い	P 2
節電への取り組み	P 3
自宅でゆっくり102歳の誕生日	P 4
やすらぎ会夏祭り	P 5
おすすめレシピコーナー	P 6

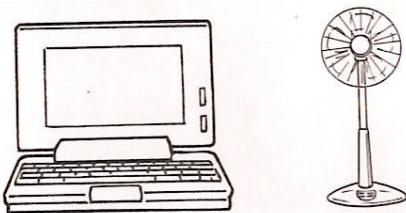
No. 53

2011 秋 号

平成23年9月25日発行

各課の節電行動計画(抜粋)

施設福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 不在となる居室等の消灯の徹底 共有のスペースは基本的に日中消灯 窓の開放による換気 ギャッチャアップ不要のベッドのコンセントを抜く
在宅福祉課	<ul style="list-style-type: none"> 打ち水や、水を使った余暇活動の実施 会議は明るい場所で実施 パソコンの節電設定 超過勤務を減らす
かたくりの園	<ul style="list-style-type: none"> アクティビティの充実を図り、テレビなどの電気製品の使用を控える 昼休憩中の消灯徹底 施設周辺の緑化などで自然な涼しさが得られるよう工夫 足浴を積極的に取り入れる
総務課	<ul style="list-style-type: none"> 事務所内の部分消灯 宿直者による夜間消灯時間の徹底 軽装による暑さ対策 電気使用量、前年同月比の周知による意識付け



節電の夏 やすらぎ会の取り組み

日本全国で節電に取り組んだこの夏、やすらぎ会でもこれまでの電力使用状況を見直し、使用量削減を目指した取り組みを実施してきました。各課ごとに節電リーダーを決め、節電行動計画を立てて7月から実行。ただし、暑さ対策については利用者や職員の健康を損なうことのないよう十分に配慮しながらの実施でした。その結果7～8月は前年同月比で大きな削減に成功！具体的な行動計画なしでは実現できなかつたと思います。猛暑の夏はなんとか乗り切りました。無駄な電力消費をなくす取り組みは今後も意識して継続してまいります。



足からひんやり、気持ちイイ(かたくりの園)



真夏らしい暑さだった8月9日の夕暮れ時、ぶなの園納涼花火大会が始まりました。今年も多くの子どもたちが遊びに来てくれて、始まる前から賑やかな声が響き渡っていました。花火の種類は打ち上げ、吹き上げ、手持ち、線香花火などいろいろ。子どもも特養住民が一緒に線香花火を楽しむ姿がありました。中庭で開催したので施設内に煙が充満していましたが、煙や火薬の臭いもまた、夏を実感させてくれた花火大会でした。

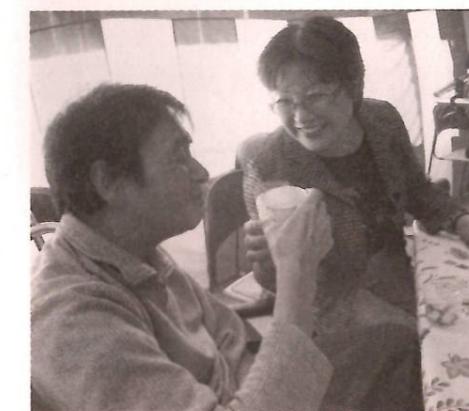
納涼 花火大会



豪華『円山和子ショー』でパワー注入!!



一人ひとりとふれあいながら唄ってくださった円山和子さん



冷たいビールで乾杯



年祝いを迎えた皆さん



西和賀町からの祝い品を受取る米澤工サさん

ぶなの園住民の健康を祝う集い

9月15日、今年もぶなの園の敬老行事「住民の健康を祝う集い」が開催されました。昼食の豪華弁当を味わい、式典は午後2時から。町長はじめ祝辞やお祝いメッセージを多くの方から頂戴し、さらに西和賀町やお世話になっている業者、そしてや

すらぎ会からの敬老祝い品の贈呈がありました。

百歳以上は米澤工サさん(102)と黒渕キサさん(101)、米寿が高橋キクエさん、大石テツ子さん、南川トミさん、佐々木キエさんが喜寿の年祝い。それぞれ晴れやかな表情で記念の品を受け取つておりました。

式典終了後はビッグイベント「円山和子ショー」で祝賀会。見ごたえのある唄と踊りに会場が圧倒され、どこかのコンサート会場にいるような気分でした。ビールやジュースを飲みながらオリジナル曲や美空ひばりのヒットメドレーを堪能して祝賀会は閉会。円山和子さんにパワーを注入してもらつた皆さんでした。



オープニングの百年座太鼓



ステージを楽しむ利用者とご家族

やすらぎ会文化祭のご案内

とき：平成23年10月30日（日）

ところ：特別養護老人ホーム
ぶなの園内

ながみ：心のこもった作品の展示

唄や踊りの豪華ステージ

ちょっとひと息喫茶コーナー

ほかにも楽しい企画あります！
ぜひ遊びに来てください！！



まつりのメインはやはりさんざ踊り

今年の夏祭りは7月30日の開催。梅雨明けが例年より早く、久々に晴天の下で開催できると期待していましたが、午前中から降ったりやんだりの恒例の空模様。

午後5時、百年座の勇壮な太鼓で祭りはスタートし、特養住民による「柔」の披露、やよい会の皆

さんの華やかな踊りと続きました。天候は今にも降りだしそうな曇り空でしたが、その後のさんざ踊り、そして抽選会もなんとか持ちこたえ、結局最後まで曇りのままでした。

空はどんよりでも祭りのテンションは最初から最後まで最高潮。これもステージ出演団体の皆様、ご協力いただいたボランティアの皆様、そしてご来場くださった皆様のおかげです。

今年も大盛り上がりの夏祭りになりましたが、来年こそは真夏の太陽に照りつけられながら当日を迎えるものです。

夏まつり

災害は忘れたころにやってくる

かたくりの園 総合防災訓練

かたくりの園では毎月のように防災訓練を実施しています。それは、いつ何時災害が発生するか解らないためです。

私たち職員は、いかなる時も利用者の安全を第一に考え行動しなければなりませんが、日頃の訓練なくして、実際の災害発生時に動けるはずがありません。さらに、私たち職員には冷静な判断が求められます。どこでどんな事が起きたのか冷静に判断し、その後の展開を予想し、行動しなければなりません。もし、判断を誤ってしまえば、命を失ってしまう可能性もあります。だからこそ、様々なケースを想定し訓練が必要となるのです。

3月に起きた東日本大震災は教訓となりました。数日前に発生した少し大きめの地震で津波警報が出され、一部の人は避難しましたが、大きな防波堤があることで、「ここまで来ないだろう」という心理が働き、避難しなかった人も大勢いたようです。そして、あの大地震。「ここまで…」の思いが妨げとなり、大津波にさらわれた人も沢山いたのではないでしょうか。

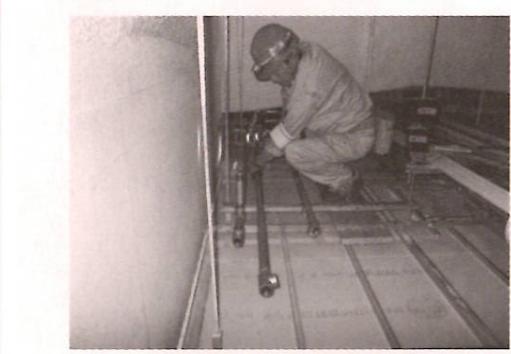
そう、「災害は忘れたころにやってくる」。しかも、自分たちの想像を超えた規模だと、小さな人間はひとたまりもありません。私たちは、この痛ましい経験を活かし、過信することなく災害に向き合わなければなりません。一人一人が考え、課題意識を持ちながら訓練を実施しなければならないのです。だからこそ、この防災訓練が必要なのだと、改めて考えさせられている今日この頃です。

消火器による初期消火訓練
(7月29日)

ぶなの園 スプリンクラー設置工事が始まりました

消防法の改正により、ぶなの園においても今年度中にスプリンクラーを設置することが義務化されています。準備は前年度から進めており、8月の理事会での議決を経てよいよ設置工事がスタートしました。

施設全体におよぶ工事のため、特養住民の皆さんには様々な面でご不便、ご迷惑をおかけすることもあると思います。住民の安全、安心を第一に、年末あたりには工事を完了する予定でおりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



天井裏での配管作業



誕生日に自宅の玄関前にて

明治42年生まれの米澤エサさんは、8月25日の誕生日でなんと102歳、ぶなの園では現在の最高齢となります。誕生日は太田のご自宅に帰つて、家族や親類の皆さんに盛大にお祝いをしてもらい、そのまま二泊してぶなの園に戻されました。ぶなの園に入所される前から、誕生会は毎年賑やかに行なわれているそうです。「今年も元気でやった」と皆で喜び合うその温もりになつていることでしょう。

**温かい家族に囲まれて
米澤エサさん—〇二—歳**

今年も、ぶなの園デイサービスでは、活動の一環として園芸活動に取組んでいます。利用者の皆さんと一緒に苗の成長と沢山の実り採れたての味を楽しみに、6月の下旬に通所していた皆さんと食用ほおずき、ミニトマトの苗を植えました。苗の手入れの仕方を、利用者から教えていただき一緒に脇芽を欠いたり、支柱に結び付けたりしました。脇芽が育ち花をつけてしまい「あらー」と笑いながら、結びつけられました。

ミニトマトの種類を赤、オレンジ、橢円形と揃えました。今年の暑さで心配しましたが順調に育ち、皮はチョット固かつたでしたが味は見事なトマトになりました。スグリを見て「あんや、久し振りに見だ、懐かしいごど」と目を細めて見ていました。

デイサービスの玄関前は大きく



プリプリのミニトマトが実りました

手入れで成長を助けたと思っています。

デイサービスセンターぶなの園

情報発信！在宅サービス

大きく育ったミニトマト

今年も、ぶなの園デイサービスでは、活動の一環として園芸活動に取組んでいます。利用者の皆さんと一緒に苗の成長と沢山の実り採れたての味を楽しみに、6月の下旬に通所していた皆さんと食用ほおずき、ミニトマトの苗を植えました。苗の手入れの仕方を、利用者から教えていただき一緒に脇芽を欠いたり、支柱に結び付けたりしました。脇芽が育ち花をつけてしまい「あらー」と笑いながら、結びつけられました。

ミニトマトの種類を赤、オレンジ、橢円形と揃えました。今年の暑さで心配しましたが順調に育ち、皮はチョット固かつたでしたが味は見事なトマトになりました。スグリを見て「あんや、久し振りに見だ、懐かしいごど」と目を細めて見ていました。

デイサービスの玄関前は大きく



6月	7月	8月
29日 住民健康診断	1日 課長会議	30日 特養第三者評価委員会
28日 買い物ツアーチョン	2日 ダンボールシアター鑑賞	2日 出張理容
24日 西高実習オリエンテー	13日 さなぶりまつり	3日 法人内部監査
23日 集団指導会	15日 感染症対策委員会	5日 納涼花火大会
20日 食堂ワックス清掃	16日 住民健康診断、心電図検	9日 舟っこ流し参加
16日 住民心電図検査	17日 総合防災訓練	14日 衣料品出張販売
15日 査定会議	18日 消防設備点検	17日 銀河高原まつり参加
14日 集団指導会	25日 西高企業説明会	18日 出張理容
13日 住民健康診断	30日 特養家族懇談会	22日 法人内部監査
12日 ホーム喫茶	1日 総合防災訓練	24日 課長会議
11日 心電図検査	2日 西高職場体験学習	26日 特養第三者委員現地見学
10日 心電図検査	3日 衣料品出張販売	30日 手打ちそばを打つ会
9日 心電図検査	4日 西高職場体験学習	
8日 心電図検査	5日 西高職場体験学習	
7日 心電図検査	6日 西高職場体験学習	
6日 心電図検査	7日 西高職場体験学習	
5日 心電図検査	8日 西高職場体験学習	
4日 心電図検査	9日 西高職場体験学習	
3日 心電図検査	10日 西高職場体験学習	
2日 心電図検査	11日 西高職場体験学習	
1日 心電図検査	12日 西高職場体験学習	



おすすめメニュー その6 トマトとアボガドの冷製パスタ

平成23年8月23日(火) ぶなの園ランチメニューの逸品

材料 (2人分)

- | | |
|------------|----------------|
| スパゲッティ…50g | 塩、コショウ…少々 |
| アボガド…1個 | オリーブ油…少々 |
| トマト…1個 | イタリアンドレッシング…適量 |
| サニーレタス…10g | |
| エリンギ…20g | |



はい、できあがり♡ (1人分 375kcal)



作り方

- ①アボガドは皮と種を取って1cm角に切り、塩を少々ふる。
- ②トマトを湯むきして1cm角に切り、ドレッシングをからめて冷やしておく。
- ③レタスはちぎっておき、エリンギは食べやすい大きさに切る。
- ④スパゲッティを茹でて氷水で冷やし、乾いた布で水気をとる。
- ⑤スパゲッティをさらに盛り付け、レタス、エリンギ、アボガドをのせ、ドレッシングを上からかけて出来上がり。

POINTはここ♡

スパゲッティを茹でた後に氷水で冷やすので、いつもより長めに茹でるとよい。(目安は表示の時間より+2分)

アレンジしちゃおう♡

ツナを入れても、モツツアレラチーズを加えてOK！
ドレッシングにレモン汁を加えると、さっぱりとして暑い日にいいかも！

和賀川

22

理事長
高橋 一雄

■人は加齢によつて体も意のままにならず、喪失体験を重ねて孤獨な生活に行き着くのだが、それでも他人との交わりを求め、人のために役立つて、人に必要とされている、ということから生きるために、創造と連帶の輪を広めてゆきたい。

□特別養護老人ホーム ぶなの園

□デイサービスセンター ぶなの園

□ホームヘルプステーション ぶなの園

□西和賀介護相談室

西和賀町沢内字太田2地割135番地

電話 0197-85-2322

FAX 0197-85-2317

Eメール bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp

□高齢者生活福祉センターかたくりの園

西和賀町沢内字大野17地割140番地1

電話 0197-85-3388

FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会

広報委員会

平成23年6月～8月

【ご寄付】

- ・高橋千二様
- ・大島久様
- ・戸巻明光様
- ・石井忠吉様

【ご寄贈】

- ・石井敏明様
- ・山鼻眞一様
- ・猿橋重一様
- ・三浦武一郎様
- ・北村運一様
- ・西和賀町婦人連絡協議会様

【ボランティア等】

- ・どれみの会様
- ・猿橋婦人会様
- ・太田婦人会様
- ・西和賀町婦人連絡協議会様
- ・おはなしきらきら様
- ・佐々木エリ子様
- ・高橋昭士様
- ・高橋和子様
- ・佐々木アキ子様
- ・深澤ノリ様
- ・生活支援センター高橋セツ様
- ・岩上敏一様

あたたかい善意を頂戴し
厚くお礼申しあげます

表紙の写真

夏の終わりの手打ちそば。8月30日に行なわれた手打ちそば実演の様子です。業者の職人さんがそば粉から「練る」「のばす」「切る」の工程を住民の目の前で実演。様々な器具とテクニックを駆使して、サラサラの粉がおいしそうな麺の状態に姿を変えていきました。そしてお昼には冷たいざるそばとなつて住民の口の中へ。感想は「日本人でよかった～」ですよね♪



W
T

不適切な発言や態度から主要ポストの辞任に追い込まれる方を、よくテレビ等で見かけます。まさに「口は災いのもと」。日本人は自分の考えや感じたことを自由に表現してよいはずですが、時と場所、そして立場を十分にわきまえて発言しなければいけません。それはテレビで見かける人だけではなく、私たちも同じです。何気ないことばで人を傷つけたり信頼を損ねたりしないよう、日常生活から気をつけていきましょう！

編集後記